

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 社会医療法人社団十全会		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1	
本票作成	部署名：事務部 設備担当				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	循環器を主とした急性期病院				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	心臓病センター榊原病院		岡山市北区中井町2丁目5-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 32 年度)
	4,850 t CO <sub>2</sub>	4,864 t CO <sub>2</sub>	4,608 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	心臓病センター榊原病院	4,864 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 32 年度 ( 5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 0.3 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

当院のエネルギー使用は、主に空調設備（冷暖房）と医療機器が大半を占めている。空調設備主要の外気処理調和機のエネルギー使用量は、外気温度によって大きく影響を受けます。平均気温が基準年度である平成27年度と比較して夏季（7月～9月）は+1℃上がり冬季（11月～2月）で2.4℃下回り、そのためエネルギー使用量が増加したと思われる。なお、基準年度の平成27年度と同じ平均気温であった中間期（4月～6月、10月、3月）についてはエネルギー使用量は削減できており、省エネルギー対策がされています。また、医療機器の高度化、業績向上に伴って手術件数が過去最多となり、入院数の増加、必然的に医療機器のエネルギー増加したと考えられる。

**【推進体制】**

エネルギー管理に伴う統括者・企画推進者を選任、またエネルギー管理員2名選任活動の中心である「環境委員会」へ企画推進者の選出・効率的なエネルギー管理を遂行する。過去のエネルギー使用量を季節・時間帯など要素を取り入れ、管理の見直しを随時行う。環境委員会では、エネルギーの削減・業務効率を中心に活動し、定期的な院内ラウンドを実施している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
	<p><b>【実施した措置】</b>                      平成25年4月～ 各機器に対する管理基準の作成                      平成25年7月～ エネルギー管理者・管理員の選出                      平成26年度～ 貯湯システム・空冷チラーの運転管理の見直し                      外調機の運転管理の見直し（運転温度・時間）                      平成27年度～ 外調機の運転管理の見直し（凍結防止）                      EHPの時間帯別 温度設定の導入                      平成28年7月～ 熱源機器（空冷ヒートポンプチラー）の管理の見直し                      平成29年5月～ 夜間帯のエネルギー使用量改善</p> <p><b>【今後実施予定分】</b>                      平成30年5月～ 貯湯システムの運転管理見直し</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--